

# 大分寺婦

第23号

発行

大分教区  
寺族婦人会連盟

〒874-0920

別府市北浜3丁目6-36

本願寺別府別院内

TEL 0977-22-0146

## 新年のご挨拶

大分教区寺族婦人会連盟 委員長

森 百合子



新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひします。

委員長を受けて、早十ヶ月になろうとしております。早速四月に総会があり、六月末より二泊三日の「北海道御別院参拝の旅」に参加させていただきまし

本願寺派における北海道開教の歴史は、本願寺第二十代門主広如上人の時をもってその端緒とするということでした。小樽・札幌別院の方から、その当時のご苦労のお話を聞かせていただきました。

九月には、新門様教区ご巡回記念行事及び懇親会に出席させていただきました。

過疎・過密の中で、また世相の変化によって教えが伝わりにくくなっている現実、それにどう対応し、次世代にどう伝えてゆくか、新門様も、その大変さ

をお話下さいました。

懇親会では、新裏方様と共に、にこやかに、出席者の方々とお話をされていたことが印象的でした。親鸞聖人七百五十回大遠忌には、私たち寺婦も、ご門徒さんと共に、聖人のご苦労、ご遺徳を偲びつつ、本願寺へお参りさせていただきたいと思いま

## ● 研修総会 ●

去る四月二十三日 別府別院 本堂に於て、寺婦連盟総会が開催されました。午前中の総会では新役員の紹介、本山での「寺族女性教区代表者研修」に出席された東国東組照恩寺の魚返瑠美子さんの報告がありました。

引き続き午後は、ご講師に安芸教区の岡本法治先生をお迎えして「真宗の救い」という講題でお話を頂きました。

浄土真宗の大きな特徴は、私



新役員紹介

が仏にならせて頂く「往相廻向」と浄土より還りきて衆生を救う「還相廻向」が説かれている事である。私が浄土に往生するのみにてなく浄土より還りきて衆生を救う働きをするという事も全てが、如来の廻向によるものである。だから浄土真宗には、如来からの往相、還相の二つの廻向のほかはなく、この二つも一つのものであると教行信証には詳しく著している。浄土真宗の救いは本願力により私が浄土に参らせていただく事である。往



研修風景



ご講話(岡本法治先生)

相廻向、還相廻向が真宗の救いである。先生はわかりやすくお話を下さいました。

## 研・修・旅・行

はじめての北海道!

寺婦旅行が北海道と決定した時から指折り数えて待っていました。大雨の九州から二時間、千歳空港は曇りながらさわやかな風が心地よい別天地でした。まっすぐ延びる道路、白樺の林、広い広い畑、たて長の信号機。歓声をあげる我々を乗せたバスは小樽別院に到着。

修復を終えたばかりの本堂はとても大きく立派でしたが、展示されていた明治の頃の写真には、広い大地にポツンと立つわらぶきの質素な本堂がありました。ご輪番さんのお話を聞きながら、極寒の地での伝道のきびしさと熱意を思いました。

最終日に参拝した札幌別院は鉄筋の現代的な本堂でしたが、どちらのお別院もご門徒は二千戸以上とか。不毛の地でのきび

## 小樽・札幌別院参拝

しい伝道の歴史を作りあげてこられた方々のご苦勞を思い胸が熱くなりました。

観光ではペンギンが飛ぶように泳ぐ旭山動物園、ラベンダー畑の続く富良野、運河の街小樽等々。メロン、ラーメン、生キャラメル、そしてジンギスカンにサッポロビール!



空飛ぶペンギン



夕食懇親会



ラベンダー畑



北海道から沖縄の坊守方が  
「坊守としての自覚を再確認」

東国東組 照恩寺  
魚返 瑠美子

## 寺族女性教区代表者 研修会に参加して



全員集合

楽しかった三日間を四十二人の坊守さん達とにぎやかに一緒にできた事がなによりこの研修となりました。トラブルもなく全員無事に帰れてホッとしました。次回を楽しみにしております。

する研修会でした。又お国振りを生かした寺院活動の中での苦悩に共感し共有していました。教章にお示し下さっているように「私の歩む道」としてのお言葉通り新しい時代と共に心あたたまる寺院活動をしていきましょう。そして悲しみや苦しみやよろこびをかかえて、とにかくお寺へ行ってみようと考える、そんな寺院にしていきたい」とのお話でした。

新門様には両別院のご巡拝をいただきました。ご本山は七百五十回大遠忌法要のお待ち受けで盛り上がっていました。キッズサンガは行事消化型にならないようにとのことでした。

お寺を子どもの居場所として開放し、子どもたちに、阿弥陀様のお慈悲の中に生かされていることを伝えて行かねばならないことの大切さを、強く感じながら二日間の研修を終えました。

### 手軽に出来る精進料理 《ひじきの簡単白あえ》

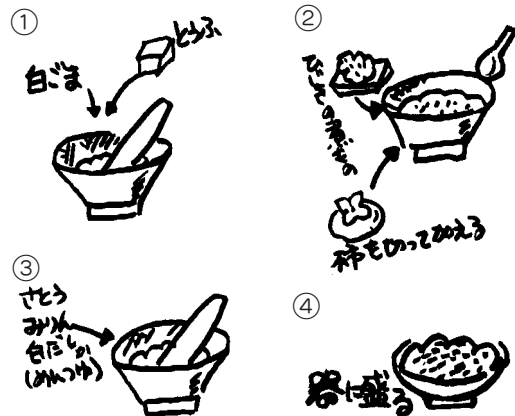
「難しそう、手間がかかりそう」と思われがちな「白あえ」ある惣菜を使って、安くて、手早く、おいしく出来上がります。是非！一度お試し下さい。

#### ★材料 (2~4人分)

- ひじきの煮物 …………… 1カップ
- あえ衣…木綿豆腐 ……小1/2丁
- 白ごま ……………1/4カップ
- 砂糖、みりん…各小さじ1/2
- 白だし(めんつゆ) …少量
- 柿 ……半分

#### ★作り方

- ①とうふはまな板などで重しをし、1時間ほどしっかり水きりをする。
- ②すり鉢にごまを入れて軽くする。とうふは水けをふきとり、ちぎってすり鉢に加え、なめらかになるまでよくすり合わせる。
- ③②に砂糖、みりん、白だしを加えて混ぜ、市販のひじきの煮物の汁けをよく絞って加え、あえ衣を全体によくからめて、最後に柿をひじきのにんじんの大きさに合わせて切り、まぜ合わせて出来上り！



## 宇佐組 活動報告

四月の総会で一年間の計画を立てます。年三〜四回の研修会、今までコーラスやローソク作り、念珠の組み方や組長様の法話など実施してきました。十二月は四日市別院の清掃奉仕と報恩講のお参り、昨年は手作りのお齋をいただき、よい勉強になりました。二月は別府別院のお内佛報恩講にお参りしました。三月

は反省会を兼ねて懇親会を行いました。また、二年に一度日歸りの研修旅行も実施しております。昨年は、鎮西別院・門司港レトロに行きました。

宇佐組は二十九ヶ寺がありますが、東部・中部・西部の三ブロックに分かれています。各ブロック別に坊守講が開かれています。年数回又は毎月行われているブロックもあります。時間は日中や夜とそれぞれですが、各寺持ち回りで行われ、茶菓子など味わいなながら坊守として母として妻として社会人としての良い情報交換の場となっています。

### お内佛報恩講のご案内

日時：二〇一〇(平成二十二年)二月五日(金)  
十時四十五分〜受付

場所：本願寺別府別院「会館お内佛」(二階)

講師：森 智崇先生(玖珠組・光徳寺)

### おくやみ

平成二十一年は左記の方がご逝去されました。  
謹んでお悔やみ申しあげます。

- 藤澤 スエ子(97歳)  
宇佐組 浄泉寺 前坊守  
平成二十一年一月 九日
- 杜多 鈴子(96歳)  
由布院組 西蓮寺 前坊守  
平成二十一年一月十二日
- 本多 美智(86歳)  
臼佐組 光蓮寺 前坊守  
平成二十一年一月二十四日
- 神力 早見(89歳)  
宇佐組 長安寺 前坊守  
平成二十一年三月二十三日
- 松本 美恵(90歳)  
由布院組 明蓮寺 前坊守  
平成二十一年六月四日
- 松琴 光枝(84歳)  
国東中組 安楽寺 坊守  
平成二十一年六月五日

### あとがき

新型インフルエンザ大流行!! 私たちの地域や家庭にも猛威をふるい、目に見えないウイルスに振り回される日々であります。

“まわりのものと隔離することが第一の予防策だ、と聞きました。はたしてそれで生活していけるのかなあ? などなど、色んなことを考えさせられています。

この度、「大分寺婦」を皆様のご協力のもと発行する運びとなりました。これを縁として、寺婦の、お念仏のあたたかい輪が広がることを願いつつ...。今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

